

2023 年 9 月 中国の COVID-19 感染状況と EG.5 系統の流行

中国 CDC の月次報告では、8 月の COVID-19 新規重症症例は 532 例、死亡症例は 43 例、8 月末の発熱外来診療数は 12.6 万人/日、8 月最終週の ILI の SARS-CoV-2 陽性率は 19.6%であった。中国 CDC は 8 月 21 日に発表した『EG.5 一問一答』の中で、「中国の EG.5 変異株の比率は、4 月には 0.6%であったが、8 月には 71.6%まで増加した」と述べた。GISAID のデータでは、中国本土の EG.5.1 は 5 月以降急速に増加して、8 月には 66.7%を占めている。 2023.9.9 吉川淳子（中国執業医師 南京市）

1. 中国 CDC の月次レポート

全国 COVID-19 感染状況

2023.9.7 発表分¹（2023 年 8 月分）全文

一、全国の COVID-19 重症と死亡症例の報告状況

2023 年 8 月 1～31 日、全国 31 の省（自治区、直轄市）と新疆生産建設兵団が報告した新規重症症例は 532 例、死亡症例は 43 例（うち COVID-19 による呼吸不全での死亡はなく、全数が基礎疾患に加え COVID-19 に感染し死亡）であった（図 1-1）。

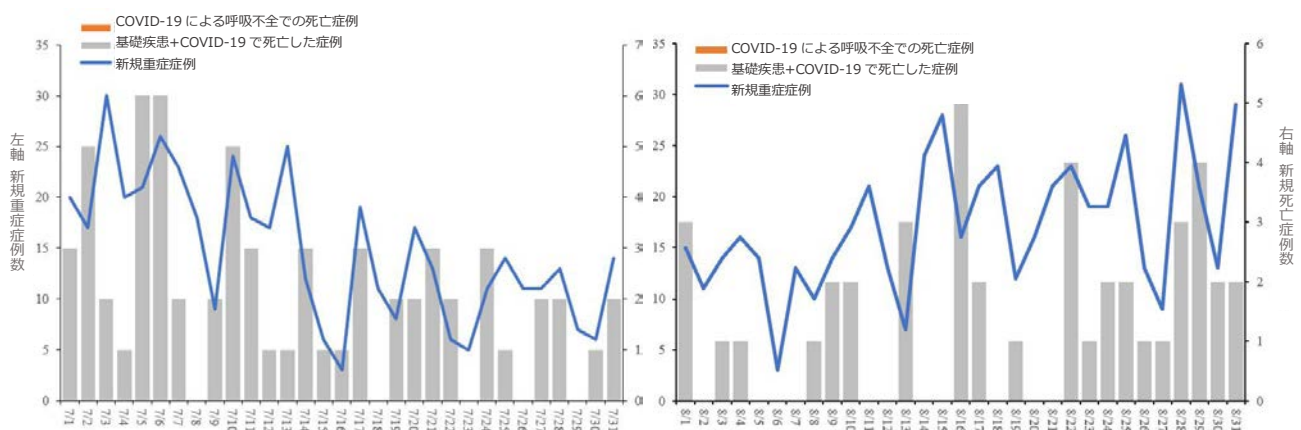


図 1-1 2023 年 7～8 月 全国 COVID-19 新規重症症例と死亡症例の報告状況 中国 CDC

¹ 『全国新型冠状病毒感染疫情情况』中国 CDC HP

2023.9.7 発表分 https://www.chinacdc.cn/jkzt/crb/zl/szkb_11803/jszl_13141/202309/t20230906_269361.html

2023.8.3 発表分 https://www.chinacdc.cn/jkzt/crb/zl/szkb_11803/jszl_13141/202308/t20230803_268370.html

二、全国発熱外来診療状況

2023 年 8 月 1～31 日、全国 31 の省（自治区、直轄市）と新疆生産建設兵団が報告した発熱外来診療数は 12.5 万人前後で推移している（図 1-2）。

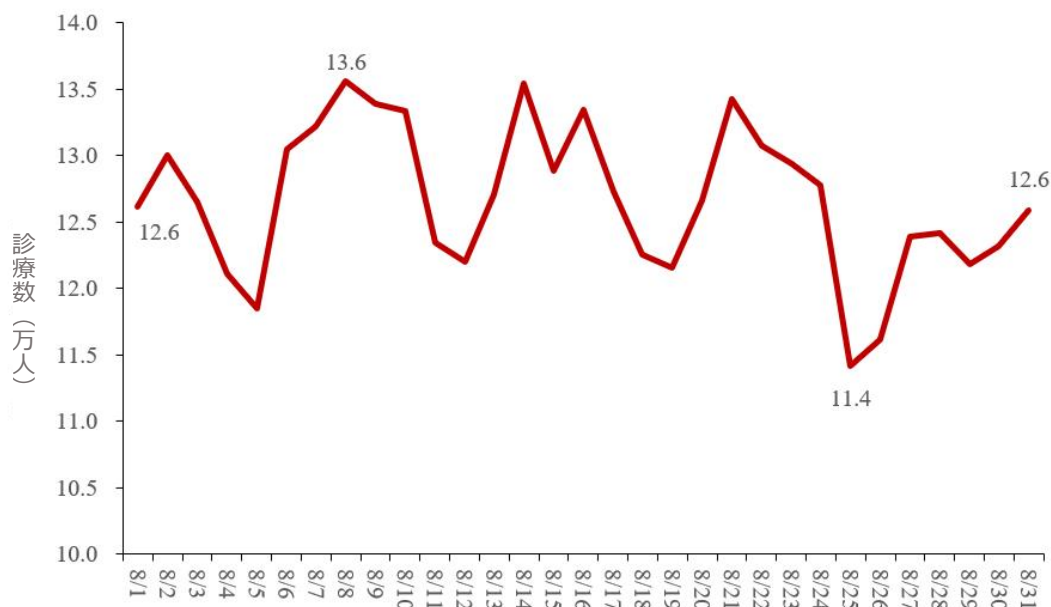


図 1-2 2023 年 8 月 全国発熱外来診療人数の変化 中国 CDC

三、定点病院サーベイランス状況

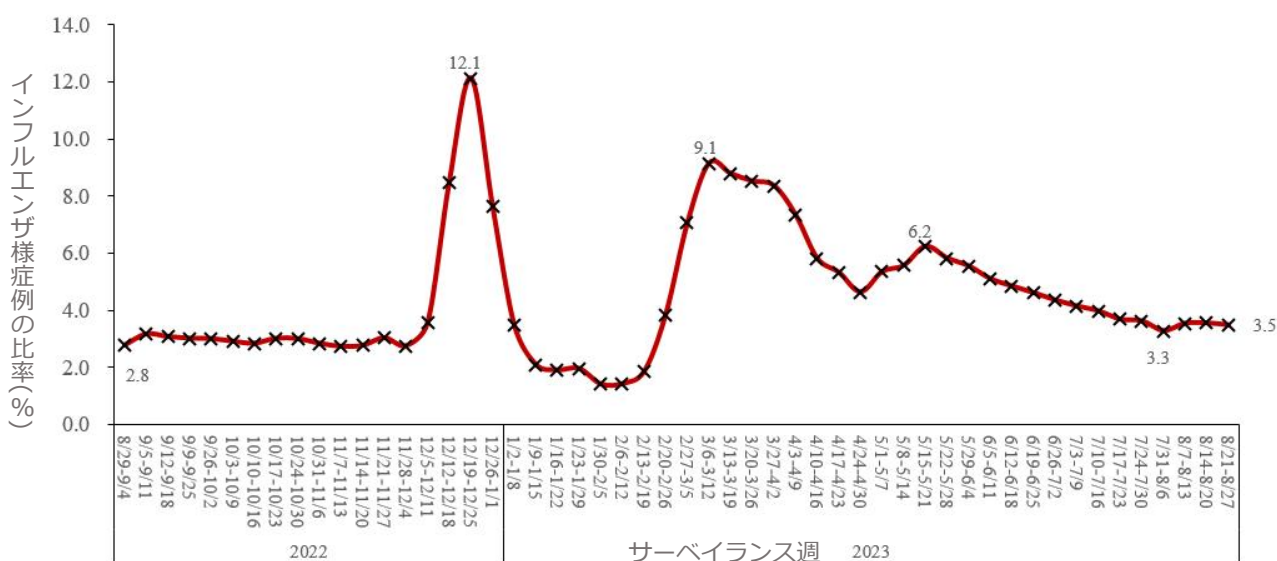


図 1-3-1 全国定点病院報告のインフルエンザ様症例比率の変化 中国 CDC

全国定点病院でのインフルエンザ様症例（ILI）の外来、救急外来受診者に占める割合は、2023 年第 31 週（7 月 31 日～8 月 6 日）の 3.3%から、第 34 週（8 月 21～27 日）には 3.5%へと、わずかに上昇した（図 1-3-1）。

インフルエンザ様症例（ILI）の SARS-CoV-2 陽性率は第 31 週（7 月 31 日～8 月 6 日）の 14.4%からゆるやかに上昇し、第 34 週（8 月 21～27 日）には 19.6% となった（図 1-3-2）。

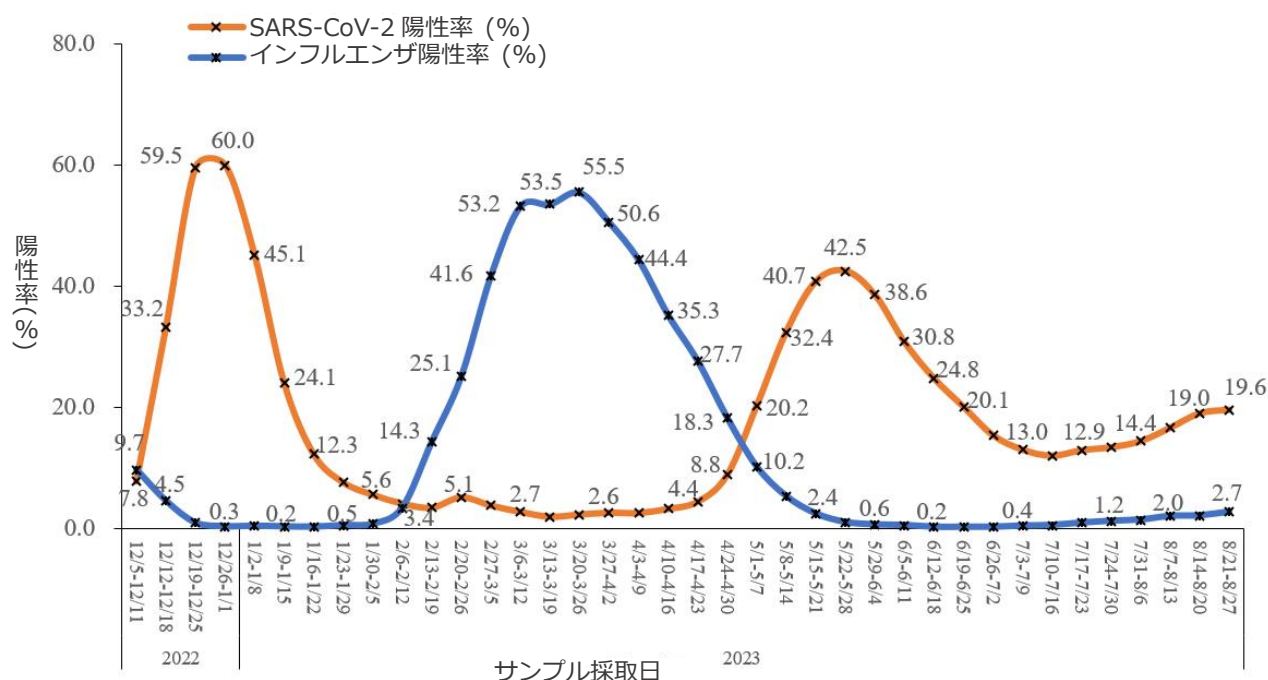


図 1-3-2 全国定点病院でのインフルエンザ様症例の SARS-CoV-2 とインフルエンザ陽性率の変化 中国 CDC

四、本土症例ウイルス変異サーベイランス状況

2023 年 8 月 1～31 日、全国 31 の省（自治区、直轄市）と新疆生産建設兵団から計 9,608 例の本土症例の有効な SARS-CoV-2 ゲノムシーケンスが報告され、その全部がオミクロン株で、106 の亜系統が存在した。主な流行株は XBB 系列の変異株で、上位 3 種の流行株は XBB.1.9 と亜系統、XBB.1.22 と亜系統、XBB.1.16 と亜系統の順であった。

サンプル採取日別に見ると、8 月の XBB と亜系統の比率はやや増加しており、2023 年第 31 週（7 月 31 日～8 月 6 日）に 99.6%、第 34 週（8 月 21～27 日）には 99.8%となった（図 1-4）。

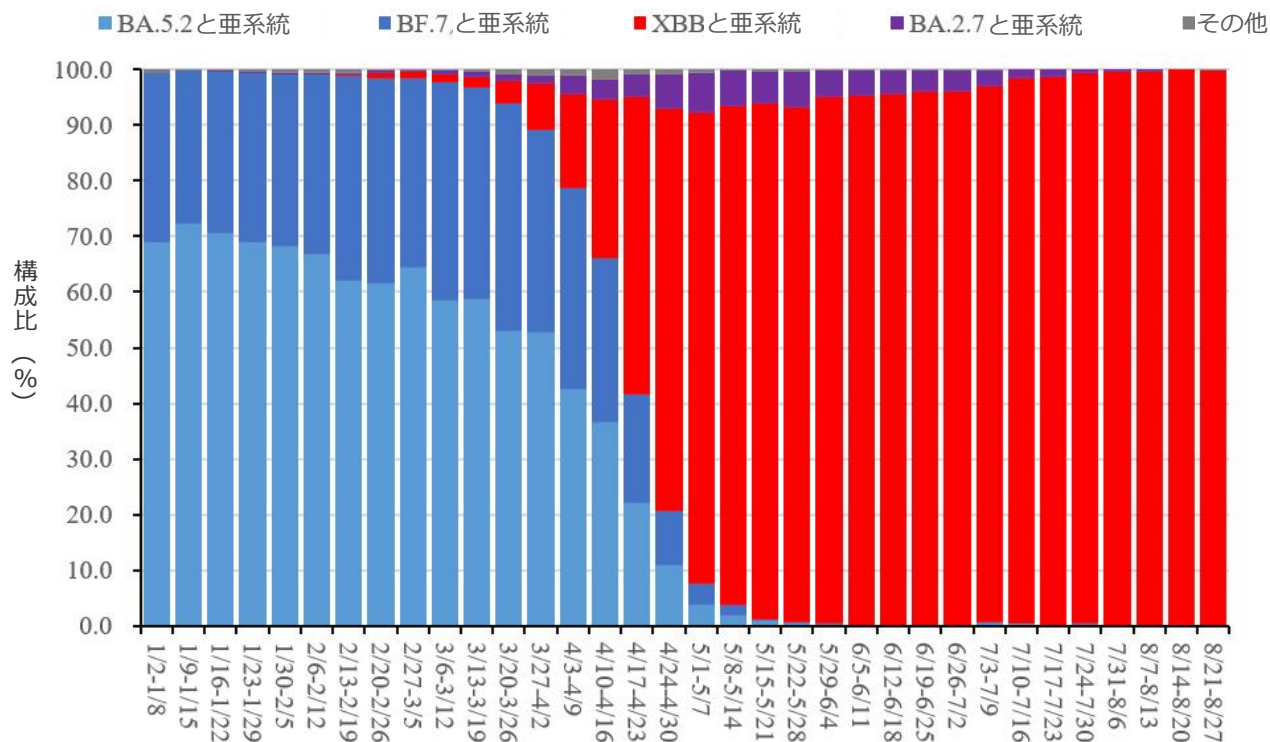


図 1-4 全国の SARS-CoV-2 本土症例変異株の変化 中国 CDC

2. 訳者による参考資料

(1) GISAID ホームページより

9月8日 GISAID 公表の中国本土症例変異株の比率²は図 2-1 のように、EG.5.1（藤色）が5月以降急速に増加して、8月には66.7%を占めている。



百分比小于4%的谱系已被合并到其父系并计入父系。图表的数据更新于2023-09-08 10:30。

2019人类冠状病毒谱系占比图 - 全国（不含港澳台）

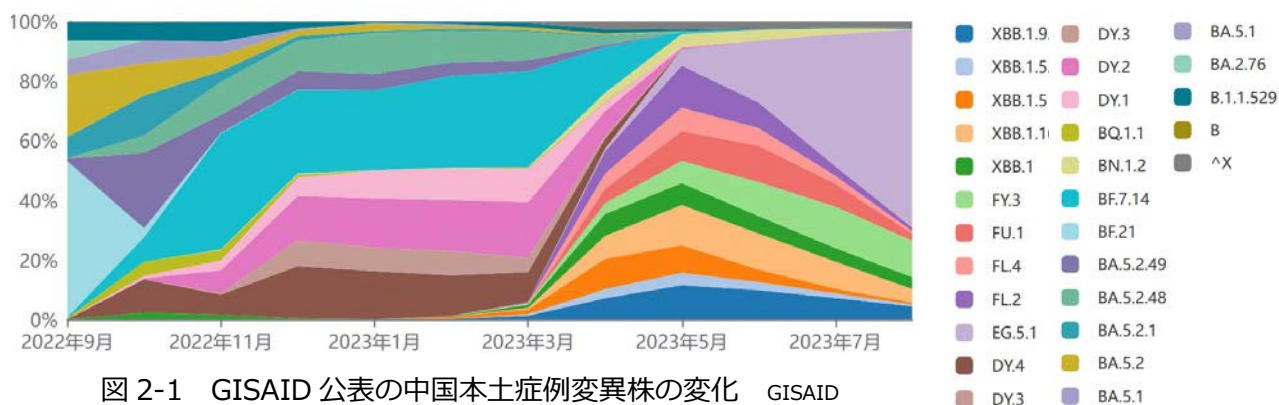


図 2-1 GISAID 公表の中国本土症例変異株の変化 GISAID

² GISAID HP <https://gisaid.org/phylogenetics/china-cn/>

中国本土から GISAID
に登録されたゲノムシー
ケンスの数は、2022 年
12 月～2023 年 1 月の第
1 波、5 月の第 2 波で増
加し、8 月には 2,081 例
であった（図 2-2）。



図 2-2 中国本土から GISAID に登録されたゲノムシーケンス数 GISAID

(1) これまでの中国 CDC 発表の集計

表2-1 中国本土 在院COVID-19感染者、重症者数（人）

2023年	在院感染者数	在院重症者数 (重篤を含む)	うち COVID- 19重症	基礎疾患重症 +COVID-19 感染
ピーク値	162.5万 (1/5)	12.8万 (1/5)		
1/12	1,270,000	104,018	7,357	96,661
1/19	471,739	51,683	3,874	47,809
1/26	215,958	26,156	1,894	24,262
2/2	98,742	7,918	653	7,265
2/9	37,611	424	46	378
2/16	20,000	56	6	50
2/23	14,500	8	0	8
3/2	11,000	8	0	8
3/9	8,629	6	0	6
3/16	7,091	7	2	5
3/23	5,881	5	1	4
3/30	4,697	7	2	5
4/6	3,889	8	2	6
4/13	3,697	5	1	4
4/20	3,929	10	2	8
4/27	5,592	19	3	16
		新規重症症例*		
5/1～31	—	2,777	—	—
6/1～30	—	1,968	—	—
7/1～31	—	455	—	—
8/1～31	—	532	—	—

*5～8月分は「新規重症症例」とされ「在院」の記載なし
(中国CDC発表データより筆者作成)

8 月は新規重症者数は 7 月よりやや増加してい
る（455→ 532 人）が、死亡者数は減少してい

表2-2 中国本土 在院COVID-19関連死亡者数（人）

	総数	うち COVID-19で の呼吸不全に よる死亡	基礎疾患+ COVID-19感 染による死亡
2022/12/8～ 2023/1/12	59,938	5,503	54,435
1/13～19	12,658	681	11,977
1/20～26	6,364	289	6,075
1/27～2/2	3,278	131	3,147
2/3～9	912	27	885
2/10～16	98	1	97
2/17～23	7	0	7
2/24～3/2	0	0	0
3/3～9	0	0	0
3/10～16	0	0	0
3/17～23	0	0	0
3/24～30	0	0	0
3/31～4/6	0	0	0
4/7～13	0	0	0
4/14～20	0	0	0
4/21～27	0	0	0
5/1～31**	164	3	161
6/1～30**	239	2	237
7/1～31**	65	0	65
8/1～31**	43	0	43
12/8～合計	83,766	6,637	77,129

*1日あたりの死亡数ピークは2023.1.4の4,273人

**5～8月分は「新規死亡症例」とされ「在院」の記載なし
(中国CDC発表データより筆者作成)

る（65→ 43 人）。図 1-1 からは、8 月初旬を底に、月末にかけてやや増加傾向がうかがえる。

発熱外来受診者数は 7 月と同レベル、ILI 患者の SARS-CoV-2 陽性率はやや上昇傾向である。今夏の中国は気温が高く、統計開始以来 2 番目の暑さであった。7～8 月は学校は夏休みである。

表2-3 中国本土 発熱外来、インフルエンザ様症例（ILI）の状況

発熱外来受診者数（人）				定点病院インフルエンザ様症例（ILI）				
集計日	全体	農村	都市	集計週		外来受診者中の割合（ILI%）	SARS-CoV-2 陽性率（%）	インフルエンザ 陽性率（%）
ピーク値	286.7万 (12/23)	92.2万 (12/23)	195.4万 (12/22)	週 No	ピーク値	12.1 (12/19～25)	60.35 (12/26～1/1)	55.5 (3/20～26)
				3	1/16～22	2.0	13.10	0.14
1/23	11.0万	5.0万	5.9万	4	1/23～29	2.0	8.3	0.5
1/30	16.4万	6.9万	9.5万	5	1/30～2/5	1.4	5.7	0.6
2/6	13.7万	5.8万	7.9万	6	2/6～12	1.4	4.1	3.4
2/13	12.8万	5.0万	7.7万					
2/16	12.4万	4.6万	7.7万	7	2/13～19	1.8	3.4	14.3
2/23	14.7万	3.3万	11.5万	8	2/20～26	3.8	5.1	25.1
3/2	30.4万	5.1万	25.3万	9	2/27～3/5	7.1	3.8	41.6
3/9	48.1万	8.1万	40.0万	10	3/6～12	9.1	2.7	53.2
3/16	48.3万	9.7万	38.6万	11	3/13～19	8.8	1.9	53.5
3/23	45.5万	10.9万	34.6万	12	3/20～26	8.5	2.3	55.5
3/30	42.3万	10.6万	31.8万	13	3/27～4/2	8.4	2.6	50.6
4/6	38.4万	11.7万	26.6万	14	4/3～9	7.3	2.6	44.4
4/13	30.1万	9.4万	20.6万	15	4/10～16	5.8	3.2	35.3
4/20	23.6万	6.8万	16.8万	16	4/17～23	5.3	4.4	27.7
4/27	22.1万	5.5万	16.5万	17	4/24～30	4.6	8.8	18.3
5/1	18.3万			18	5/1～7		20.2	10.2
				19	5/8～14		32.4	5.3
5/16	36.0万			20	5/15～21	6.2	40.7	2.4
5/31	29.4万			21	5/22～28	5.8	42.5	1.0
6/1	28.8万			22	5/29～6/4	5.5	38.6	0.6
				23	6/5～11		30.8	0.5
				24	6/12～18		24.8	0.2
				25	6/19～25		20.1	0.2
6/30	16.4万			26	6/26～7/2	4.4	15.4	0.2
7/1	16.2万			27	7/3～9	4.1	13.0	0.4
				28	7/10～16		12.0	0.5
				29	7/17～23		12.9	
7/31	12.4万			30	7/24～30	3.6	13.4	1.2
8/1	12.6万			31	7/31～8/6	3.3	14.4	
8/8	13.6万			32	8/7～13			2.0
8/25	11.4万			33	8/14～20		19.0	
8/31	12.6万			34	8/21～27	3.5	19.6	2.7

（中国CDC発表データより筆者作成）

3. 中国の EG.5 系統の流行

(1) EG.5 系統、8 月には 71.6%——中国 CDC による一問一答 (2023.8.21) ³

「わが国のモニタリング結果によると、SARS-CoV-2 の流行株の中の EG.5 変異株の比率は上昇傾向で、4 月には 0.6%であったのが、8 月には 71.6%まで増加し、現在わが国の大多数の省で優勢となっている。わが国は本年 4～6 月にオミクロン株 XBB 系統変異ウイルスの流行を経験し、獲得された人々の免疫力は XBB の亜系統である EG.5 変異株に対しても保護作用がある。このところ全国の COVID-19 流行は低いレベルで上下しており、各地の医療系統への圧力は小さく、短期的には大きな流行は発生しないとみられる。」

(2) 上海の状況

3 度目陽性の症例は？ (2023.8.12 中国ネット 澎湃新聞の報道) ⁴

中国 SNS では「3 度目陽性になった」という投稿が散見されるようになった。

上海の復旦大学附属華山病院感染科の状況

・7 月以降当院に収容した COVID-19 重症患者の比率はおよそ 5%で、主に初感染、高齢者、基礎疾患がコントロールできていない患者、ワクチンを接種していない患者に集中している。実際の診療では、短期間での再感染や「3 度目陽性」の状況は極めて少なく、「4 度目陽性」の患者はほとんどいない。

復旦大学附属華山病院 感染科副主任 王新宇医師の話

「今は相対的に平穩、または谷にあたる段階です。たしかに短期間のうちに、3 か月後に再感染したという症例に出会ったことはありますが、大多数の患者は比較的軽症です。」

上海で COVID-19 患者がやや増えている (2023.8.16 上観新聞 澎湃新聞の報道) ⁵

・上海の複数の医療機関への取材によると、最近外来の COVID-19 患者は 10～15%増えている。症状はほとんどが軽く、重症患者は増えていない。

³ 『关于新冠病毒 EG.5 变异株相关科普问答』中国 CDC HP 2023.8.21

https://www.chinacdc.cn/jkzt/crb/zl/szkb_11803/jszl_2275/202308/t20230821_268703.html

⁴ 『“三阳”来了？疫苗能否预防新冠新毒株 EG.5？最新研判』中国网 澎湃新闻 2023.8.12

https://www.thepaper.cn/newsDetail_forward_24212333

⁵ 『上海近期医院新冠感染者略增，如何看待新的变异株？专家详解』上观新闻 澎湃新闻 2023.8.16

https://www.thepaper.cn/newsDetail_forward_24249753

上海市公共衛生臨床センター 凌雲副主任の話

「上海の医療機関の症例数の変化は、国内全体の変化と一致しています。世界的な症例数の増加の原因は、夏は集まりや旅行など人々の交流が多いことに加え、新しい変異株が出現したことだと思われます。上海でも、五月の連休のあと症例がやや増えたように、専門家の予測では、新学期に子どもたちが旅行から帰って集団生活に戻れば、症例数も増える可能性があります、大きな範囲で爆発するということはないとみています。

EG.5 の重症化リスクが高いというエビデンスはありませんが、専門家は、高リスクの患者は、ワクチン未接種の場合は接種を完成させ、陽性であることがわかった場合は、できるだけ早く抗ウイルス治療薬を使用することを推奨しています。それによりウイルス量を減少させ、症状を抑え、家庭内伝播を断ち切り、家族を守ることができるからです。

今までのところ抗原検査はオミクロン株に対する感度はとてもいいので、疑わしい症状があれば、まず抗原検査で感染の有無を調べ、感染がわかればただちに薬を服用してください。現在抗ウイルス治療薬の選択肢は多く、医師の勧めにしたがって服用でき、拒否する必要はありません。臨床データによると、ウイルスは変異を続けていますが抗ウイルス薬は依然として有効で、早期の使用は後遺症の発生リスクを抑えることができます。

9 月になるとまたインフルエンザのシーズンに入り、インフルエンザと COVID-19 が重なって死亡リスクが上昇します。高齢者、小児、医療従事者などリスクの高い人はインフルエンザワクチンを接種し、60～70%のインフルエンザへの防護力を実現して、未然に感染を防ぎましょう。」

(3) 広東省の状況 (2023.8.17 第一財經の報道)⁶

佛山市 CDC の SNS (2023.8.16)

- ・ 佛山市では EG.5 が優勢になってきているが、その危険性はコントロールできる範囲内である。
- ・ WHO のデータでは、7 月 17～23 日の週が国の EG.5 の比率は 24.7%から 45%に上昇した。
- ・ 現在は流行散発段階で、あとしばらくは平穏な状態が続くと予想される。

⁶ 『新冠变异株 EG.5 在佛山等地流行，专家称普通人每年会感染 1-3 次』 2023.8.17 第一財經

<https://baijiahao.baidu.com/s?id=1774461147570144300>

毎年 1～3 回感染も——深圳市第三人民病院 院長 盧洪洲教授の話

「深圳では“3 度目陽性”の方はごく少数で、“2 度目陽性”の患者さんが中心です。8 月に入ってから、私の病院では連日 COVID-19 確定症例は 5 人前後、入院患者は 2 人前後で、主に高齢者、糖尿病、腎機能障害、がんなどの基礎疾患のある患者さんです。入院患者は肺炎を起こしている方が多く、ワクチン接種をしていない方も少しおられます。ただ今のところ死亡例はほとんどありません。

COVID-19 は感染力が非常に強く、感染後にできる抗体も自然に衰減するし、ワクチンも絶対的な防護力はないため、基本的には多くの人が毎年 1～3 回感染するのではないのでしょうか。ただし免疫機能が正常な人では大きな影響はないと思われます。

また、オミクロン株の範疇にあるウイルスについては多くの人が交差免疫記憶を持っています。たとえ EG.5 に遭遇しても、すぐに反応して抗体を作り出すことができます。

COVID-19 は感染力が非常に高いばかりでなく、感染がわかりにくいことも多く、ウイルスは“狡猾”です。このため COVID-19 の流行には明確な季節性がなく、5～6 か月に 1 度の小さいピークがくることが多いのですが、総体としてはピークは小さくなってきており、国家全体の防疫にはそれほど影響しません。

高齢者や基礎疾患がある方、免疫機能が低下している方は、毎年定期的に COVID-19 ワクチンを接種しましょう。ワクチン接種方案には、鼻噴霧型ワクチンと皮下注射ワクチンの組み合わせによる免疫や、COVID-19 多価ワクチンなども含まれます。」